

2017年(平成29年)1月29日 日曜日

## 神奈川新聞

発達障害がある橋本宏紀さん(22)は伊勢原市が主人公の冊子「はっしー物語」が完成した。自身や家族について語った内容を聞き書き形式で活字にした。発行元であるNPO法人びな・パートナーシップ・ひろば(海老名市)の阿部美和子理事長(64)は、多くの人が橋本さんの生き方や思いに触れて障害への理解が深まり、共生社会の実現につながってほしいと願う。(岡本 晶子)

橋本さんは3歳で広汎性発達障害と診断され、阿部さんの学習支援教室に通い始めた。現在は鶴巻温泉病院(秦野市)でこみ回収や清掃の仕事をし、「びな」のアシスタントスタッフも務める。

阿部さんが聞き書きを思い立ったのは、橋本さんが語る言葉の中から、新たな気付きが得られると考えたからだ。「彼独特の物事の捉え方があり、おそらく私たちとは違う景色、世界が見えている。そういったものの理解につながるのでは」。子育てや教育、福祉の現場で支援する立場の人たちに、特に読んでもらいたいという。

NPO法人聞き書きのわの渡邊和子理事長(70)は「京都が聞き書きを担当した。家族や仕事、好きな人

## 「はっしー」の思い 冊子に

## 発達障害 共生の物語

## 「僕は皆のヒーローに」

のこと…。初回から2時間に及んだ。

「こんなくたりもある。阿部先生とは長いお付き合いですが、恋人ではありません。恋人ではなく先生です」。僕は皆のヒーローになり、仲間を助けたり、協力したり、他の仲間を認めてあげようかと思えます」

橋本さんは、絵や数字、漢字を繰り返し書く子ども

だった。今も手帳には自身の大事なことを丁寧な文字でびっしり書き込んでいます。家族の生年月日、自分の小中高の入学式の日にちや曜日まで正確に記憶し、渡邊さんを驚かせた。約70ページの冊子を手に「うー、阿部さんは言う。信頼

## 独特の世界聞き書き NPO

海老名のNPO  
できる大人とつながれる場がコンビニくらいの距離にあればいい。この冊子は、彼から社会への問題提起でもある」

冊子の発行を記念したセミナーが、2月4日午後2時から海老名市文化会館で開催される。橋本さんが登壇。共生社会の実現や障害者の自立支援について考える。一般2,000円。

希望者には600円(送料別)で冊子を提供する。

申し込み・問い合わせは「びな」のファクス0463(95)3789、またはメールnaouta@mbj.niftv.comへ。



「はっしー物語」の制作に携わった(右から)渡邊さん、橋本さん、橋本さんの父・洋之さん、阿部さん＝海老名市